

■ 令和 4 年度 of 取組状況

時期	施設分離型	施設一体型
4月	定例教育委員会議「二宮町小中一貫教育推進計画」議決	
5月	施設分離型小中一貫教育校準備委員会 (小中学校長会)	
6月	施設分離型小中一貫教育校準備委員会 (小中学校長会)	第1回施設一体型小中一貫教育校設置研究会 ・講演「新しい『二宮町型』義務教育の創造」
	施設分離型小中一貫教育に係る視察（おおさわ学園 三鷹市立第七中学校）	
7月	○施設分離型小中一貫教育校準備委員会 (小中学校長会)	
	○児童生徒向けアンケート実施 ※説明資料配布及び動画視聴	
	○保護者向け案内配布 「二宮町施設分離型小中一貫校の開催について」	
	二宮町教育講演会「魅力的な小中一貫教育（義務教育）を共創するには～施設とカリキュラムの連携をデザインする～」	
8月	施設分離型小中一貫教育校準備委員会 (小中学校長会)	
9月	○カリキュラムワーキンググループ検証授業 ※ 9 月以降に順次開催 ○ 6 年生へ中学校入学前のアドバイス伝達会 ・9月30日 二宮中学校生徒会 → 二宮小学校 ・10月3日 二宮西中学校 → 一色小学校・山西小学校	第2回施設一体型小中一貫教育校設置研究会 協議 ・二宮町の育てたい子ども像について ・小中一貫教育の特徴とその成果、課題について ・先進校視察に向けた視察校の選定について
10月	施設分離型小中一貫教育校準備委員会 (小中学校長会)	
11月	施設分離型小中一貫教育校準備委員会 (小中学校長会)	
12月	施設分離型小中一貫教育校準備委員会 (小中学校長会)	第3回施設一体型小中一貫教育校設置研究会 ・世界の教育状況 ・第 2 回ワーキング結果のふりかえり

■ 施設分離型小中一貫教育校準備委員会で検討状況（令和 4 年11月時点）

【すでに各学校で取り組んでいること】

- ①小中 5 校で共通した授業指導法の実施
- ②各教科つまずきやすい単元の指導法の研究
- ③小学校児童と中学校生徒の交流

【令和 5 年度から始まることについて準備委員会で決定したこと】

・学園名「にのみや学園」 小中 5 校を 1 つの学園とする分離型小中一貫校

【二宮中グループ】：二宮中学校と二宮小学校

【二宮西中グループ】：二宮西中学校と山西小学校と一色小学校

※一色小学校児童の進学先は、原則、今まで通りとする。今後、検討の必要性が生ずることがあれば検討する

・学園長 委員会が指名 ※グループ長：両中学校長

・小中一貫教育目標 5 校共通「認め合い、高め合う、二宮の子」

■ 令和5年度の小中一貫教育

【分離型小中一貫】

- ・令和5年4月に分離型小中一貫校を開設
- ・各取り組みを引き続き推進（すでに各学校で取り組んでいることに記載の①～③）

※ 児童生徒の交流について

児童生徒へのアンケート結果では、「部活動」「同学年の生徒のふれあい」「中学校の行事」「中学校の授業」に対する関心が高く、この児童生徒の声にフォーカスして、小学校同士の連携、小中学校の連携を意識した関係づくりをより一層進めていく。

【施設一体型小中一貫】

- ・施設一体型小中一貫校設置研究会内での研究を進め、研究結果をまとめる。
（研究予定：児童生徒の意見・分離型の成果等の分析、教育内容、校舎、設置時期・場所 等）

■ 今後のコミュニティ・スクール

- ・現段階では、各学校の活動を盛り上げていくことが大事である。当面は、現在の形態で活動を行う。
→ 分離型小中一貫教育の進捗等を踏まえ、将来的に統合を検討していく。
- ・これまでと同様に、学校間の情報共有を行う。
- ・今後、各中学校グループで、児童生徒の交流を深めるための取組を行っていくので、取組に必要な支援の協議や協力を行う。